



第86期 株主の皆さまへ

平成17年4月1日から平成18年3月31日

証券コード 5991

NHKニッパツ

日本発条株式会社



目次

ごあいさつ 1

製品バリエーション 3

事業概況

懸架ばね部門 5

シート部門 6

精密ばね部門 7

産機・セキュリティ部門 8

海外部門・研究開発部門 10

決算情報

単独情報

貸借対照表 11

損益計算書 12

利益処分 12

連結情報

連結貸借対照表 13

連結損益計算書 13

連結キャッシュ・フロー計算書 13

株式概況 14

役員・株価の推移 14

株主メモ・会社概要 裏表紙

当社第86期事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期における日本経済は、原油・原材料価格の高騰などの下押し要因はありましたが、中国や米国向け輸出の伸びを背景に、企業の設備投資と個人消費という両輪の好循環により、順調に回復基調を維持いたしました。

当社の主要な得意先であります自動車産業は、国内販売は普通乗用車では減少しましたが、軽自動車と排ガス規制強化に伴うトラックの増加により5,862千台となり前期比0.7%の増加となりました。完成車輸出は、米国において好調な景気に支えられた販売台数増に加え、日系車のシェア拡大などにより5,257千台となり前期比5.6%の増加となりました。この結果、国内の自動車生産台数は10,894千台となり前期比2.6%の増加となりました。

また、当社の一方の主な得意先であります情報機器関連産業は、上半期において一部の品目について在庫調整が続いたものの、パソコンおよびデジタル家電の需要増に支えられ、HDD（ハードディスク駆動装置）関連は好調に推移しました。

このような状況の中で、グローバルサプライヤーとしての役割を果たすため、グループの総力をあげて次のとおり事業基盤の強化に努めました。

米国では、懸架ばね部門のニューメーサーメタルズ社がスタビライザ増産のため新工場を稼働しました。また、当社は精密ばね部門のNHKスプリングプレシジョンオブアメリカ社を新設し、自動車用バルブスプリングなどの生産を開始しました。さらに、機動的な経営を目指して懸架ばね部門のNHKオブアメリカサスペンションコンポーネンツ社、シート部門のゼネラルシーティングオブアメリカ社を完全子会社化しました。

タイでは、NHKスプリング(タイランド)社が精密ばね部門において、当社のHDD用サスペンションのグローバル生産体制構築に向け、第三の拠点となるべく工場建設に着手しました。

中国では、精密ばね部門のNATペリフェラル社がHDD用サスペンションの量産を開始しました。また、懸架ばね部門のこうしゅうにっせいだんこう広州日正弹簧有限公司がコイルばね、およびスタビライザ増産のため工場を拡張しました。

国内では、特殊発條興業株式会社の全株式を取得して精密ばね部門における品種構成を強化しました。

以上のように、グローバルでの増産体制を整えるとともに、当社は活発な営業活動を展開した結果、当期の売上高は232,627百万円で前期比15.0%の増収となりました。

また、収益面では売上数量増に加え、徹底した生産性向上、合理化・原価低減、業務効率化活動の展開により、経常利益は15,891百万円で前期比31.7%の増益となりました。当期純利益は9,313百万円で前期比39.3%の増益となりました。

なお、当期末の利益配当金は、昨年12月にお支払いしました中間配当金と同じく1株につき4円50銭といたしました。

平成18年度の日本経済は、回復トレンドが持続すると予想されますが、原油価格や為替の動向、労働需給のひっ迫など不透明な要因があり、当面予断を許さない状況が続くものと思われます。

当社の主たる得意先であります自動車産業につきましては、国内販売は軽自動車・小型車を中心におおむね堅調に推移すると予想され、輸出は米国の日系車のシェア拡大が続くことにより堅調な伸びが見込まれます。したがって、国内の自動車生産台数は前期に比べ増加すると想定されます。

一方、情報機器関連産業におきましては、HDD関連は世界的な市場拡大に支えられ成長が持続するものと予想されます。

このような状況のもとで、当社はお客様に満足いただける製品をいち早く市場に投入するとともに、グローバルレベルで最高品質のものづくりを推進する一方、営業・生産・購買が一体となり徹底した原価低減に努める所存であります。またグループの総合力を最大限に発揮するために、事業別戦略の展開と経営資源の最適配分を実践し、より戦略的なグローバル連結経営に努めてまいります。

株主の皆さまのご支援に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

代表取締役会長

佐々木 謙二

代表取締役社長

天木 武彦



代表取締役社長

天木 武彦

代表取締役会長

佐々木 謙二

自動車からIT、産業・生活分野まで、なくてはならないキーパーツ

自動車用懸架ばねの生産から事業を開始したニッパツ。自動車産業の成長とともに業容を拡大し、快適な乗り心地を追求したシート、高機能の精密ばねなどを生産しています。

またニッパツの技術は、自動車以外にも幅広い分野で活躍しています。特にIT関連では、HDD用サスペンションやメカ部品のほか、ナノテクノロジーを駆使した精密部品を提供しています。

このほか信頼性の高いセキュリティ製品など、産業・生活分野にも様々な製品を送り出しています。

なくてはならないキーパーツ—ニッパツは常に皆様の新しいニーズに応えるとともに、豊かな社会の発展に貢献します。



■ 懸架ばね

高応力化により軽量化を図った各種懸架ばね。コンパクトなスペースにレイアウトできる「たる形ばね」。走行安定性と乗り心地向上に優れています。



■ 金属ベローズ製品

メンテナンスフリーかつ抜群の耐久性を備えた金属ベローズ製品群。ガススプリング、油圧アキュムレータなどとして多方面で活躍しています。



■ ドライバーシート

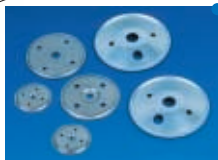
乗員のホールド性や体圧分布のバランスが良く、長時間運転しても疲れにくいドライバーシートです。

■ HDD用部品

情報通信機器には高い精度と品質をもつ精密ばね・プレス品、化成品が使われています。中でもHDDのヘッドを支持するサスペンションやディスクを押さえるクランプリング、薄物シート状ウレタンを使ったガスケットなどは高い評価を得ています。



HDD用ベース



HDD用クランプリング



HDD用サスペンション



HDD用キャリッジ部品



HDD用カバー



HDD用ガスケット

■ 駐車装置

限られた駐車スペースを有効利用できる二段・多段式駐車装置です。マンションやテナントビルに広く利用されています。



■ 線ばね

バネスプリングやクラッチ用ばねなどクルマの多くの場所で使用されています。



■ スーパーシール・スーパーシート

当社独自の製造技術をベースとした特殊ウレタン製品です。防水、気密、吸音などの用途に幅広く利用されています。



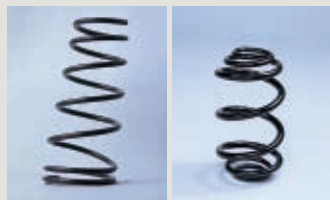
■ キービスカス

偽造防止効果の高い機械認識ホログラムを利用した「ビスカス」は、警備機器などハイセキュリティ分野で使用されています。

懸架ばね部門

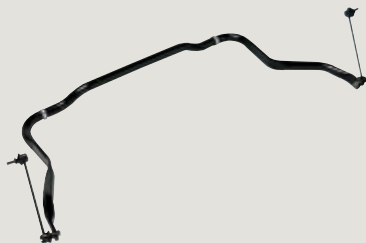
■主な営業品目

板ばね、コイルばね、スタビライザ、
トーションバー、スタビライザリンク、
アキュムレータ、ガスクッション、
スタビリンカー



L形コイルばね

たる形ばね



スタビライザユニット



アキュムレータ

当部門は、優れた技術と生産体制により、市場において安定した評価と高いシェアを確保しております。当部門の強みは、国内のみならず北米、南米、欧州、タイ、中国およびインドの海外7カ国に8社の関連会社をもち、常に市場ニーズを取り入れて世界トップレベルの技術力、開発力、品質管理体制を維持していることであります。

特に当期は、海外での日系自動車メーカーの生産拡大を見据え、コイルばねではこうしゅうにつせいばんこう 広州日正弾簧有限公司、NHK オブアメリカ サスペンション コンポーネンツ社、また、スタビライザではニューメーサーメタルス社のフランクリン工場の能力増強を行いました。

自動車の軽量化と性能向上ニーズに応えるために開発した高強度材料を使用している板ばね・コイルばね・中空スタビライザは、国内・海外のメーカーに採用され順調に売上を伸ばしております。

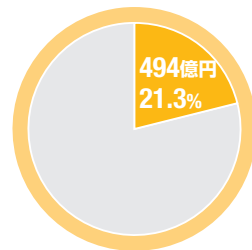
乗用車の乗り心地の改善に対して大きな効果がある「L形コイルばね」は、国内をはじめ米国、欧州でも搭載され好評を得ており、今後も、多数採用が予定されております。

また、自動車部品のモジュール化に対応して開発したスタビライザリンクと、横ズレ防止用アルミリングを取り付けたスタビライザユニット、トラック用のエアサスペンションシステムの構成部品であるスタビリンカーも、国内・海外のメーカーより注目され、高い評価を得ております。

自動車懸架装置以外の分野では、金属ベローズを応用したアキュムレータがあります。脈動吸収用のミャクトリーや蓄圧用としてブレーキ用アキュムレータを量産化しております。

金属ベローズの応用製品は、医療用途として人工心肺の熱交換システム用に使われるなど、さまざまな用途で使用されております。

■懸架ばね部門の売上高・構成比



シート部門

■ 主な営業品目

自動車用シート、シート用機構部品（シートフレーム、リクライニング、安全部品）



高級乗用車用シート



表皮一体成形シート



両側ロックリクライナ

当部門は、徹底した品質管理と高い技術力があいまって、ユーザーに喜ばれる世界トップクラスの自動車用シートと周辺部品を提供しております。当部門の強みは、特定の自動車メーカーの系列に属さず、国内各社の乗用車、商用車のシートをデザインから設計、生産、品質管理まで一貫したシステムで供給していることにあります。国内のみならず、北米、東南アジア、中国、台湾の海外7社の関連会社でも同様に、日系自動車メーカーを中心に高い評価を得ております。

また、自動車の快適な乗り心地・安全性向上・軽量化など、ユーザーのニーズにも応えております。

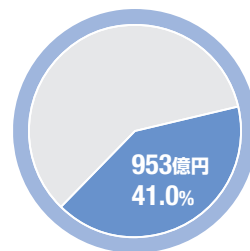
快適な乗り心地を追求した表皮一体成形シート、多機能なパワーシート、エアサスペンションシート、振動吸収ウレタンパッド、安全性を向上させた高強度両側ロックリクライナ付きシートなど、多くの自動車メーカーに採用されております。

さらに衝突時にヘッドレストが前方に移動することにより、乗員の鞭打ち傷害を軽減させるAHD(アクティブ・ヘッドレストレイント・デバイス)をはじめ、乗

員の安全を確保するシートの新しい安全装置の開発が完了し、実用化の段階になっております。

当部門の固有技術であります軽量シート骨格フレームは高張力材、豊富な解析技術と製造技術を駆使し順調に受注量が拡大しております。

■ シート部門の売上高・構成比



精密ばね部門

■主な営業品目

HDD用部品(サスペンションおよびメカ部品)、線ばね、薄板ばね、液晶・半導体検査用プローブユニット、精密接合品、精密加工品、応用機能ユニット

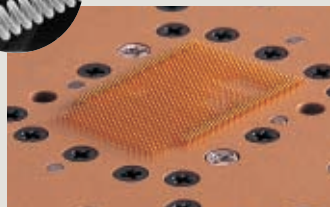


HDD用サスペンション「風魔」



髪の毛

ばね



マイクロコンタクト



バルブスプリング

当部門の精密ばね(線ばね、薄板ばね)およびその応用機能ユニットは、自動車、二輪車をはじめとして家電製品、コンピュータなどの情報通信機器に至るまで、あらゆる分野の製品に組み込まれております。

これらの製品は、市場のニーズとたゆみない技術開発から生み出され、精度の高い材料・設計・加工技術を活かして生産され、国内・海外の市場で高い評価と信頼をいただいております。

中でも、HDD用サスペンションは世界第2位の生産実績を有し、国内・海外のHDDメーカーに製品を供給しております。現在、HDDはますます高速・大容量化、小型化しており、基幹部品であるサスペンションには、より高い精度と品質が求められております。また、パソコンおよび情報家電の市場拡大により、今後もHDD用サスペンションの需要増加が期待されます。このような状況に対応し、当期は開発・生産基盤の増強を図るとともに、中国のNATペリフェラル社で量産を開始しました。また、平成18年にはNHKスプリング(タイランド)社に工場を新設し増産態勢を整えます。今後とも新製品の開発に注力し、市場シェアの向上に努めてまいります。また、ベース、カバー、クランプリング、キャリッジなどのHDD用部品は開発を日本

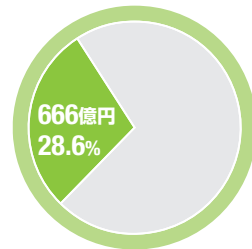
で行い、量産は日本とタイのNHKスプリング(タイランド)社の2拠点で行っております。

さらに、電子機器の検査に使用されているマイクロコンタクトは、その小型化、高機能化の要求に対して、高度な精密加工技術と世界最小クラスといわれる微細ばねを使った製品開発を行い、市場での高い評価を得ております。

なお、昨年、自動車分野において、さらに市場が拡大すると予想される米国に、エンジン用バルブスプリングやAT(オートマチック・トランスミッション)用ばねを生産する新会社NHKスプリング プレシジョン オブ アメリカ社を設立いたしました。今後、お客様のニーズに合致した供給体制を確立していく予定であります。

当部門は、自動車およびITなどの分野で、今後さらに成長の見込まれる応用製品の拡充に努めてまいります。

■精密ばね部門の売上高・構成比



産機・ セキュリティ部門

■ 主な営業品目

- (接合・セラミック) ろう付製品、
セラミック製品
- (プラント) 産業用ばね機構品、
配管支持装置
- (パーキング) 駐車装置
- (化成品) ポリウレタン製品
- (電子部品) プリント配線板



ろう付製品



駐車装置



高密度薄物シート状ウレタン



金属ベースプリント配線板

(産機部門)

当部門は、当社のもつ各種技術を結びつけ、さまざまな分野のニーズに応える製品を提供しております。

接合・セラミック部門は、半導体製造装置用の部品を、各種の金属接合技術を応用して生産しております。特に、当社で開発した独自のアルミ合金のろう付製品は、高い評価をいただいております。また、特殊セラミック製のヒータや絶縁部品を開発し、主に半導体製造装置に展開しております。

特品部門は、各種プラントに使用される配管支持装置の生産および解析業務、メンテナンス工事などで高い信頼を得ております。また、産業用ばね機構品は半導体業界を中心に需要が拡大しております。

パーキング部門は、二段・多段式駐車装置をシリーズ化し、主にマンション向けに納入しております。当事業の強化を図るため、販売・施工・メンテナンス部門を分社化しており、設計から施工、メンテナンスに至る総合技術は、業界でも定評があります。

化成品部門は、防水機能を主とした特殊ウレタン製品を生産しており、幅広い市場で高い評価をいただいております。また、新製品の高密度薄物シート状ウレ

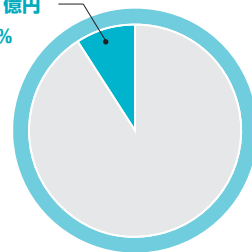
タンは、従来のHDD用ガスカートに加え、フレキシ印刷用クッション材、CMP研磨パッド材など、印刷分野、半導体分野での需要が拡大しております。

電子部品部門は、鉄、アルミなどの金属ベースプリント配線板のトップメーカーとして、マレーシアニッパツと連携しグローバルな展開を行っており、ユーザーより高い評価をいただいております。

また、アルミベースのプリント配線板は、放熱性や塑性加工性などの優れた特性を活かし、電源装置、自動車用電装部品などの用途に需要が拡大しております。

■ 産業・セキュリティ部門の売上高・構成比

211億円
9.1%



■主な営業品目

(セキュリティ)

偽造防止システム、偽造防止シール・タグ、
警備端末機器、アクセスコントロール機器、
カードリーダ、設計支援ソフトウェア



トラストグラム



アルタテックス



ニッパツが独自で
開発したRFID

IDカードなどを
重ねて一括で
読みとることが可能

(セキュリティ部門)

当部門は、当社独自のセキュリティ技術
を駆使して、警備防犯や偽造防止の分
野を中心に事業を展開しております。

警備防犯分野については、偽造が困
難な機械認識ホログラムシステム
「VISCS」(ビスカス)の技術を応用した
カードおよびタグと読み取り装置を提
供しております。非接触ICを活用した
ユビキタス社会として今後ますます拡大
していくアイテムであり、当期は非接触
ICタグ(RFID)を、複数枚重ねて一括で
読み書きできる技術を開発しました。今
後、物流・書類管理・生産管理・アミュー
ズメント向けなどの用途展開を図り、拡
販する予定であります。

偽造防止分野については、特殊素材
やホログラムを利用した技術による、有
価証券や工業製品の真偽判定のための
システムや製品を展開しております。

有価証券などの偽造防止技術の一つ
として、自社開発の特殊ファイバーを紙
にすき込み、そのファイバーを専用セン
サーによって機械認識して、高速に大量
の個別認識と真偽判定を行うシステム

「FibeCrypt」(ファイブクリプト)があり
ます。このシステムの特長を活かした株
券偽造防止システム「IOSAS」(イオサ
ス)は当期も引き続きご活用いただい
ております。

また、簡単なフィルタで真偽判定が可
能なホログラムシール「トラストグラム」
は、主に工業製品の偽造防止技術として
展開しており、当期も大手企業の新規採用
が続き、売上も順調に推移しております。

トラストグラム同様、簡単なフィルタ
で真偽判定が可能な偽造防止繊維ラベ
ル「ALTA TEX」(アルタテックス)は、
アパレル製品・バッグ・シューズなど幅広
い分野より注目を集め、主に海外ブラン
ドで活用いただいております。

当社の偽造防止技術は、市場で高い
評価をいただいております。今後さらなる需
要の開拓と新規分野への参入を図って
まいります。

海外部門



NHKスプリング プレシジョン オブ アメリカ社

当部門は、海外進出先での経済発展への貢献、地域社会との融合を基本理念として積極的に事業を展開してまいりました。

世界の工場かつ大規模市場として全世界から注目を集めている中国で、自動車用懸架ばね、精密ばねのほか、HDD用サスペンションの製造、販売を展開しており、業績も順調に拡大しております。

一方、1980年代に進出しました米国におきましては、今後の事業拡大のため、

米国企業との合併を発展的に解消し、当社単独の経営に切り替えました。

また、タイにおきましては、現地の自動車、IT産業の好況に支えられ、ますます業容を拡大しております。

今後も、当社は客先への世界最適供給を実現するため、8つの国と地域にある23の海外拠点をフルに活用し対応してまいります。

研究開発部門



光通信部品



当部門は、次世代ニーズに基づいた基幹事業の発展と新しい事業分野の開発を目指し、基盤技術の深耕から新製品の創造にわたる広範な開発を推進しております。またグローバルな事業展開に対応した解析、分析支援の拡充を進めております。

事業化を進めている光導波路型分岐器は通信業界での高い評価により、現在、北米市場No.1のシェアを獲得しております。一方、自動車安全分野では、ばね技術を応用した衝突防止装置デバイスや乗員・歩行者の安全確保機構等の

開発を進めております。環境分野では、次世代燃料電池部品やリサイクル性の優れた高分子射出成形部品の開発などを進めております。

また、当社のコア技術である金属、セラミックス、高分子等の材料技術や異種材接合等の加工技術および応力、熱、流体等の解析技術など、技術基盤の強化を積極的に進めております。



金属繊維強化材



オレフィン系高分子射出成形部品

決算情報

単独情報

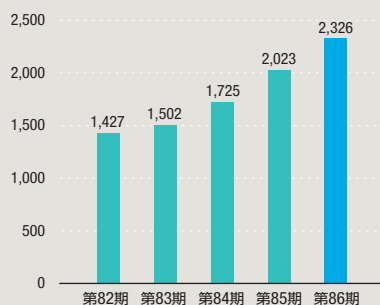
■貸借対照表

(単位:百万円)

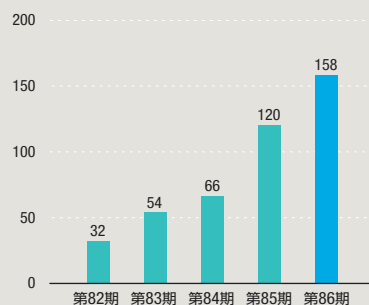
| 科 目 | 第86期 平成18年3月末 | 第85期 平成17年3月末 |
|-----------------|------------------|------------------|
| (資産の部) | 250,895 | 213,421 |
| 流動資産 | 90,262 | 83,249 |
| 現金及び預金 | 6,029 | 4,736 |
| 受取手形・売掛金 | 56,672 | 54,120 |
| 棚卸資産 | 11,968 | 10,922 |
| その他 | 15,882 | 13,757 |
| 貸倒引当金 | △290 | △287 |
| 固定資産 | 160,632 | 130,172 |
| 有形固定資産 | 58,642 | 56,867 |
| 建物・構築物 | 22,295 | 22,817 |
| 機械装置 | 18,731 | 16,930 |
| 土地 | 12,603 | 12,587 |
| 建設仮勘定 | 1,683 | 1,340 |
| その他 | 3,327 | 3,191 |
| 無形固定資産 | 2,828 | 2,194 |
| 投資その他の資産 | 99,162 | 71,110 |
| 投資有価証券 | 67,944 | 54,485 |
| 子会社株式 | 27,531 | 12,951 |
| その他 | 4,413 | 3,722 |
| 貸倒引当金 | △726 | △48 |
| 資産合計 | 250,895 | 213,421 |

| 科 目 | 第86期 平成18年3月末 | 第85期 平成17年3月末 |
|-----------------|------------------|------------------|
| (負債の部) | 148,541 | 128,021 |
| 流動負債 | 88,765 | 83,655 |
| 支払手形・買掛金 | 55,627 | 51,339 |
| 短期借入金 | 16,380 | 12,795 |
| 一年内償還社債 | — | 4,000 |
| その他 | 16,757 | 15,520 |
| 固定負債 | 59,776 | 44,365 |
| 長期借入金 | 30,120 | 21,140 |
| 繰延税金負債 | 15,626 | 7,845 |
| 退職給付引当金 | 14,030 | 15,379 |
| (資本の部) | 102,353 | 85,400 |
| 資本金 | 17,009 | 17,009 |
| 資本剰余金 | 17,295 | 17,295 |
| 資本準備金 | 17,295 | 17,295 |
| 利益剰余金 | 36,873 | 29,490 |
| 利益準備金 | 3,633 | 3,633 |
| 任意積立金 | 4,432 | 4,565 |
| 当期末処分利益 | 28,806 | 21,291 |
| 株式等評価差額金 | 31,790 | 22,099 |
| 自己株式 | △615 | △495 |
| 負債及び資本合計 | 250,895 | 213,421 |

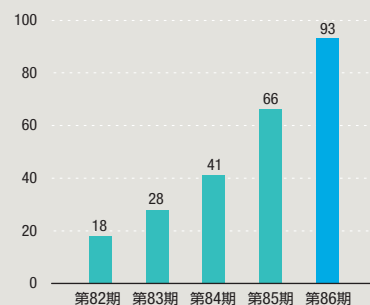
■売上高(億円)



■経常利益(億円)



■当期純利益(億円)



■ 損益計算書

(単位:百万円)

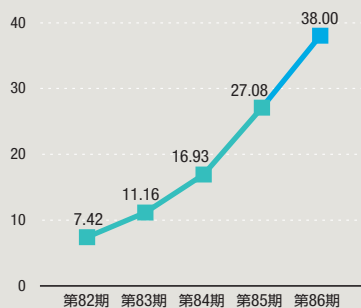
| 科 目 | 第86期 | 第85期 |
|--------------|---------------------|---------------------|
| | 平成17年4月～ 平成18年3月 | 平成16年4月～ 平成17年3月 |
| 売上高 | 232,627 | 202,319 |
| 売上原価 | 200,953 | 176,185 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,424 | 15,783 |
| 営業利益 | 14,250 | 10,350 |
| 営業外収益 | 3,785 | 3,675 |
| 営業外費用 | 2,143 | 1,958 |
| 経常利益 | 15,891 | 12,068 |
| 特別利益 | 2,323 | 849 |
| 特別損失 | 1,538 | 2,778 |
| 税引前当期純利益 | 16,677 | 10,139 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,220 | 4,950 |
| 法人税等調整額 | 1,143 | △1,497 |
| 当期純利益 | 9,313 | 6,686 |
| 前期繰越利益 | 20,584 | 15,333 |
| 中間配当額 | 1,091 | 728 |
| 当期末処分利益 | 28,806 | 21,291 |

■ 利益処分

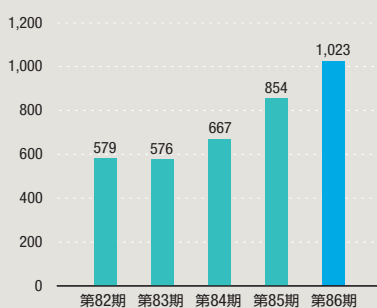
(単位:百万円)

| 科 目 | 第86期 | 第85期 |
|----------|----------|----------|
| | 平成18年3月期 | 平成17年3月期 |
| 当期末処分利益 | 28,806 | 21,291 |
| 任意積立金取崩額 | 176 | 173 |
| 計 | 28,982 | 21,464 |
| 利益処分量 | | |
| 利益配当金 | 1,091 | 728 |
| 役員賞与金 | 92 | 111 |
| (うち監査役分) | (13) | (12) |
| 任意積立金 | 11 | 40 |
| 計 | 1,196 | 879 |
| 次期繰越利益 | 27,786 | 20,584 |

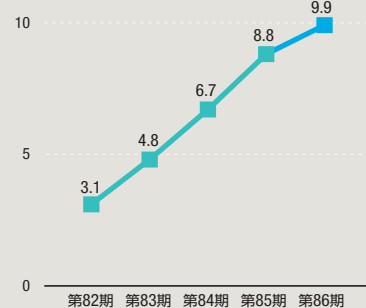
■ EPS (1株あたり当期純利益) (円)



■ 株主資本 (億円)



■ ROE (株主資本利益率) (%)



連結情報

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目 | 第86期 平成18年3月末 | 第85期 平成17年3月末 |
|-----------------|------------------|------------------|
| 流動資産 | 147,873 | 129,352 |
| 固定資産 | 207,187 | 173,854 |
| 資産合計 | 355,060 | 303,207 |
| 流動負債 | 149,421 | 132,518 |
| 固定負債 | 74,130 | 60,909 |
| 負債合計 | 223,551 | 193,428 |
| 少数株主持分 | 8,236 | 9,073 |
| 資本金 | 17,009 | 17,009 |
| 資本剰余金 | 17,295 | 17,298 |
| 利益剰余金 | 57,826 | 46,902 |
| 土地再評価差額金 | — | 40 |
| その他有価証券評価差額金 | 32,812 | 22,703 |
| 為替換算調整勘定 | △1,004 | △2,663 |
| 自己株式 | △667 | △586 |
| 資本合計 | 123,272 | 100,705 |
| 負債、少数株主持分及び資本合計 | 355,060 | 303,207 |

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 第86期 平成17年4月～ 平成18年3月 | 第85期 平成16年4月～ 平成17年3月 |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 売上高 | 383,096 | 334,704 |
| 売上原価 | 329,067 | 284,607 |
| 販売費及び一般管理費 | 32,433 | 32,294 |
| 営業利益 | 21,595 | 17,802 |
| 持分法による投資利益 | 1,689 | 1,511 |
| その他営業外収益 | 2,940 | 2,527 |
| 営業外費用 | 2,613 | 2,704 |
| 経常利益 | 23,612 | 19,136 |
| 特別利益 | 2,690 | 1,026 |
| 特別損失 | 1,764 | 2,664 |
| 税金等調整前当期純利益 | 24,538 | 17,498 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 9,203 | 7,039 |
| 法人税等調整額 | △1,116 | △158 |
| 少数株主利益 | 1,061 | 1,629 |
| 当期純利益 | 15,389 | 8,986 |

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 第86期 平成17年4月～ 平成18年3月 | 第85期 平成16年4月～ 平成17年3月 |
|-----------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 29,521 | 26,856 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △31,418 | △15,049 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5,866 | △12,310 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 916 | △26 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 4,886 | △530 |
| 現金及び現金同等物期首残高 | 13,315 | 13,228 |
| 新規連結子会社の現金及び現金同等物期首残高 | 563 | 618 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 18,765 | 13,315 |

■株式の状況

(平成18年3月31日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 600,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 244,066,144株 |
| 株主総数 | 15,207名 |

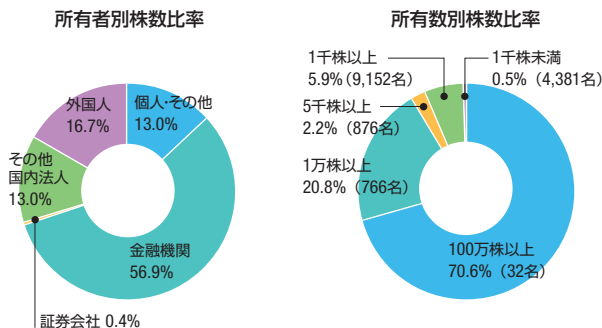
■大株主

(平成18年3月31日現在)

| 株主名 | 所有株式数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---|---------------|-------------|
| 三菱UFJ信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者日本マスタートラスト信託銀行(株) | 30,892 | 12.7 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) | 28,223 | 11.6 |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) | 22,846 | 9.4 |
| 双 日 (株) | 11,343 | 4.6 |
| (株) メ タ ル ワ ン | 11,118 | 4.6 |
| みずほ信託退職給付信託神戸製鋼所口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株) | 9,504 | 3.9 |
| みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株) | 5,753 | 2.4 |
| (株) 横 浜 銀 行 | 5,564 | 2.3 |
| (株) み ず ほ コ ー ポ レ ー ト 銀 行 | 5,002 | 2.0 |
| ジェービーモールガンチエース シーアールイー エフ ジャスデック レンディング アカウ | 3,002 | 1.2 |

■株式の分布状況

(平成18年3月31日現在)



■中間配当

平成17年10月25日開催の取締役会の決議に基づき、同年12月6日、1株につき4円50銭の中間配当を実施いたしました。

■取締役・監査役

(平成18年6月29日現在)

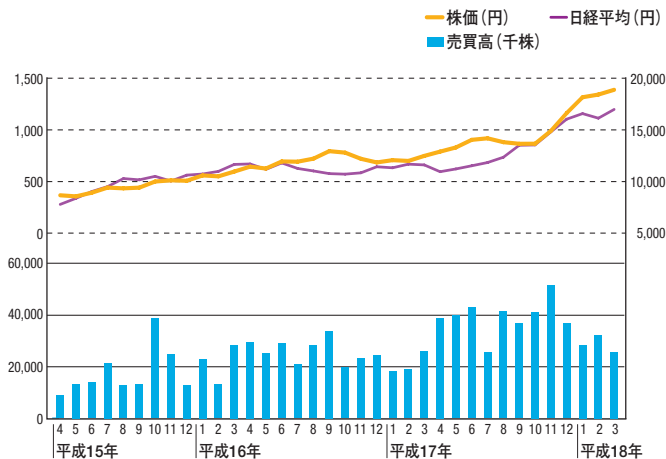
| | | | |
|-----------|--------|-------|-------|
| 代表取締役会長 | 佐々木 謙二 | 常勤監査役 | 藤田 一彦 |
| 代表取締役社長 | 天木 武彦 | 常勤監査役 | 天野 一敏 |
| 代表取締役副社長 | 鈴木 啓一 | 監査役 | 嶋尾 正 |
| 代表取締役副社長 | 池田 勝一 | 監査役 | 和田 譲治 |
| 取締役専務執行役員 | 長澤 國雄 | | |
| 取締役専務執行役員 | 布施 武 | | |
| 取締役常務執行役員 | 玉村 和己 | | |

■執行役員(取締役兼務者を除く)

(平成18年6月29日現在)

| | | | |
|--------|-------|------|--------|
| 専務執行役員 | 大森 義憲 | 執行役員 | 塩田 和男 |
| 常務執行役員 | 山口 努 | 執行役員 | 鈴木 和巳 |
| 常務執行役員 | 長瀬 悠一 | 執行役員 | 河久保 光茂 |
| 常務執行役員 | 永田 正男 | 執行役員 | 畑山 薫 |
| 常務執行役員 | 木村 雅彦 | 執行役員 | 嘉戸 広之 |
| 常務執行役員 | 山崎 章 | 執行役員 | 梅林 彰 |
| 常務執行役員 | 齋藤 哲夫 | 執行役員 | 浜野 俊雄 |
| 常務執行役員 | 原 章一 | 執行役員 | 平間 恒彦 |
| 常務執行役員 | 安田 滋 | 執行役員 | 梅村 太郎 |
| 執行役員 | 糸井 孝夫 | | |

■当社株価・売買高の推移



■株主メモ

- | | |
|---------------------|---|
| 1. 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 2. 配当金受領株主確定日 | 毎年3月31日および中間配当を行う場合は9月30日 |
| 3. 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 同事務取扱所 (お問い合わせ先) | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 |
| 同取次所 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 |
| 4. 公告掲載新聞 | 日本経済新聞 |

■会社概要

| | |
|------------|---|
| 設立 | 昭和14年(1939年)9月8日 |
| 資本金 | 170億956万6,312円 |
| 従業員数 | 3,837名 |
| 本社 | 〒236-0004 横浜市金沢区福浦三丁目10番地 電話 (045)786-7511 |
| 分館・分室 | 東京分館／横浜分室 |
| 支店 | 北関東／浜松／名古屋／大阪／広島 |
| 営業所 | 福岡 |
| 工場 | 横浜／群馬／厚木／伊勢原／伊那／駒ヶ根／豊田／滋賀／野洲 |
| 国内関連会社 | 23社 |
| 海外関連会社 | 23社 |
| ホームページアドレス | http://www.nhkspg.co.jp/ |